

## 事業報告書 (令和 3年度)

事業名 グローバル人材の育成(国際塾、高校生グローバルゼミ、ESD Café 2021の3事業)

団体名 NPO法人 こくさいこどもフォーラム岡山 担当者名 難波 徳行

※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

#### ①第18期 国際塾

- ・6月6日～10月31日 全11回の講義を開催した。
- ・対象者 県下の中・高校生
- ・入塾生 39名 17校
- ・全11回中、7回がZOOMによるオンライン講義となった。
- ★カリキュラム、講師、場所については、添付 CIRCULARを参照願います。
- ★新企画としてグループ別・年間討議を採用した。

当初より、塾生を4グループに編成、「ゼロカーボンエコノミー2050～私たちは岡山でどう貢献するか?～」を共通のテーマに、年間を通じてグループ内で議論し、最終回(第11回・卒塾式)で、それぞれの結果を英語で発表した。内容、英語力ともに期待以上のレベルであった。

#### ②ESD Café URA 2021

- ・12月19日(日) 13:00～17:00、
- ・場所 岡山国際交流センター8F イベントホール
- ・テーマ:「SDGsと私～未来は私たちがつくる～」
- ・対象者 県下の中・高校生
- ・参加者 79名 20校、教員9
- ・内容 第1部 基調講演、第2部ディスカッション、第3部 講評

参加者を11グループに編成。各別にSDGsの目標をテーマに、現状や課題、目標達成のための具体策等について議論して結果を発表した。

★議論の充実を図るべく、各グループに当該分野に詳しい有識者をアドバイザーとして配置した。

#### ③高校生グローバルゼミ

コロナ対策もあって、開催を中止した。

### 2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

#### ①国際塾第18期のカリキュラム編成にESD・SDGsの視点を取り入れた。

- 例・第4回「ハンセン病隔離政策の歴史」、
- ・第10回「SDGsと男女共同参画」

- ・グループ討議(通年)「ゼロカーボンエコノミー2050 ～私たちは岡山でどう貢献するか～」

## ②ESD Café URA 2021

参加者を11グループに編成。各々別のSDGs目標について議論し、結果を発表した。従来の運営が、発表(平素の活動などについて)に偏りすぎて、ESD・SDGsの考え方、手法について理解促進が後退しているとの反省を踏まえて、今回はCafé本来の主旨である「議論」を重視する方向に修正した。また、議論の充実を図るべく各グループにアドバイザーとして有識の社会人に参加していただいた。

## 3. 取組の成果(参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など)

※事業内容がESDにどう貢献したか等を記入してください。

- ①国際塾の第4回、「ハンセン病隔離政策の歴史」、第10回「SDGsと男女共同参画」ではいわれなき偏見・差別やジェンダー間の真の平等について考えることができた。
- ②国際塾の年間を通じての議論「カーボンゼロエコノミー」やESD Caféの議論を通じて、参加者は、「気候温暖化防止」をはじめその他のSDGsについても個人として貢献できることが多々あることに気付くことができた。
- ③これらの気付きは、参加者の今後の意識・行動に変容をもたらし、結果としてより良きグローバル人材に育ってくれることと信じている。

### ★ESD Café URAについて

- ・Caféの運営コンセプトを「発表」から「議論」に重点を移したこと、またアドバイザーとして有識の社会人に参加願ったことは、大変良かった。
- ・ご参考までに、アンケートの集約結果を添付します。

## 4. 今後の課題と展望

### <課題>

- ・グローバル人材の育成(人の成長)は、1年や2年で完結しない。当フォーラムの活動は、その一過程にすぎない。結果の検証・見える化をどう図るか。
- ・コロナ対策上、ZOOMによるオンライン講義が増えたが、教育効果という点では、対面講義には及ばないのではないかと。しかし、オンラインのメリットもある。(遠隔地の生徒も参加できる。講師の選定の幅が広がる等) 今後は、これら功罪を踏まえた使い分けが大切と思う。

### <展望>

- ・人の成長のきっかけは、「気づき」である。講義と並んで他校生との交流も大切である。交流を通じて、参加者は多くの気づきを得ることが出来る。

年間を通じてのグループ討議は、他校生との交流を深める効果もある。できれば次年度は、合宿も検討してみたい。また、講義終了後の講師を囲んでの「茶話会」も復活したい。コロナの状況次第ではあるが・・・。